

## 平成 27 年度事業報告書

平成 27 年 8 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 で

特定非営利活動法人クリオン虹の基金

### 1 事業の成果

\*以下の事業を実施した。

(1)当該ホームページは、平成 25 年 11 月 1 日から開設している。

(<http://rainbow.culion.jp/>)

(2)ハンセン病問題の啓蒙活動として、学校教育(15) 医療(3) 福祉(2) 教会(1) 合計 21 箇所で開催講演を行った。具体的な箇所については下記を参照のこと。

(3)門屋理事が中学校で、「人権講演会」を行った際、「ハンセン病について学習を深めた」との感想文が提出され、啓蒙活動の拡がりに成果があった。

その中から抜粋して感想文を紹介します。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
(1) この法人の目的に賛同する個人・団体等から寄せられた浄財を、サンバリ財団に寄付し、フィリピン国立大学レイテ分校から推薦された学生に、奨学金を授与する事業及び教育環境整備支援等の事業	*ホームページを通じて事業の啓蒙活動や寄付を募った。 *学校・医療・行政機関等からの依頼により、ハンセン病問題への啓蒙講演を実施した。  *サンバリ財団への寄付は実施しなかった。	(A) 平成27年度 (B)主たる事務所 (C) 5 人	(D) 不特定多数 (E) 10 人	73
		—	—	—
(2) 日本の医学生や医療関係者と、同校関係者の交流を深める事業	*本事業年度は、実施しなかった。	—	—	—

※ハンセン病問題を啓蒙講演した箇所

#### 【伊波理事長】

長野市立長野高校、白山市エポック、上田市立第 6 中学校シボジウム、青木村立青木中学校、上田市立丸子北部中学校、沖縄カトリック教会、上田市立第 6 中学校、上伊那医療生協、東御市立滋野小学校、東御市立東部中学校、上田市立丸子中央小学校、下諏訪町立下諏訪中学校、上伊那医療生協

#### 【門屋理事】

上田市立第三中学校、上田市・長和町組合立依田窪南部中学校、上田市立第一中学校、軽井沢町立中学校、上田市立塩田中学校、東御市立北御牧中学校

★人権講演会感想用紙から抜粋(中学1年・女性)

ハンセン病の隔離政策の話聞いた時、とてもひどい話だと思っていましたが、まさか、それに一番力をいれていたのが長野県だったと聞いてびっくりしました。私が生まれたのは平成14年ですが、つい最近の平成8年まで、そのようなハンセン病患者を強制的に隔離する法律が存在していたなんて実感がわからないし、アメリカで特効薬も見つかり、ハンセン病はうつる病気でないということも分かっていたにもかかわらず、隔離を続けたというのもよく分かりません。

病人をもとの世界とは全く離れた場所につれていき、家族の縁を切らせ、労働させるなど、こんなひどい事が90年間も続いた日本があったなんて信じられません。また、家を必要以上に消毒するなど、自分の家族が「汚いもの」扱いされ、もう会えなくなると思うと、私がハンセン病患者の家族だったら、本当に悲しいです。

私は、大人や自分のことを分かってくれない他人に将来のことや、今、自分が学ぶべきことについてつべこべ言われるのは絶対に嫌です。自分が持っているはずの「自由」は自分が死ぬまできっちりと自分で使いきりたいと思うし、誰にも奪われたくありません。ハンセン病の患者の人が人里離れた所に送り、死ぬまでずっと閉じこめておくなんて、政府はなぜそのような行為を90年間も許したのでしょうか？

私はこれから、また何か誰かの自由をうばうようなことがあれば、「それはいけない」とはっきり言える人になりたいです。

以上